

い

編集発行：池田市議会
住所：大阪府
池田市城南
1丁目1番1号
郵便番号：563-8666
TEL：072-752-1111
FAX：072-753-5414
[http://www.city.ikeda.
osaka.jp/](http://www.city.ikeda.osaka.jp/)

いけだ

No.166

いけだ市議会だより

令和元年（2019年）11月1日



運動会（緑丘小学校）

9月定例会 2

意見書 3

請願 3

一般質問 4

委員会レポート 10

議会日誌 11

議決結果 12

やまばと 12



9

月定例会



9月定例会は、9月4日に開会し、市長から名誉市民賞表彰1件と報告案件1件、議案14件並びに人事案件1件が提出され、本会議及び委員会で審議を行い、修正可決した1件を除き、いずれも可決・同意しました。

9月25日・26日の継続会では、市民の声を広く市政に反映させるため、14人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

また、市長から提出された追加議案1件を審議し、原案どおり可決し、9月定例会を閉会しました。

なお、平成30年度の一般会計・特別会計・企業会計の決算議案8件については、議会閉会中の常任委員会に審査付託しました。

9月議会での電子錠システムの導入を見送りへ

今回、提出された一般会計補正予算のうち、北豊島分団詰所の新築工事にあわせて、管理人が不在であってもスマートフォンなどで鍵の施錠・解錠ができるシステム「電子錠システム」に係る予算提案がありました。

付託された総務委員会での質疑では、「金額の根拠と妥当性が不明瞭」「競争入札ではなく、随意契約とした理由」「議案提出前の

拙速な基本協定の締結」「今後のシステム導入の流れ」など多くの意見が交わされましたが、結局、全委員の反対で否決しました。

その後の本会議では、電子錠システムに係る委託料等について白紙とする修正案が提出され、「将来の本市にとって必要なものである」との原案に賛成し、修正案に反対する意見があつたものの、「今後の共同利用施設のあり方に対する議論も進んでいない中、システムのみ先行するのは時期尚早である」「随意契約では不信感を招く」などの意見が出され、結局、修正

案を賛成多数で可決し、電子錠システムに係る予算は白紙となりました。

消費税率変更に伴い
葬祭場及び市民文化会館の
利用料変更

葬祭場及び市民文化会館の使用に係る利用料を、消費税率の引き上げに伴い改正する提案がありました。

これは総務省より消費税は「消費者が最終的な負担者となること」が予定されている間接税であることとを踏まえ、適正に転嫁されるよう措置を講じられたい」との通達があることを踏まえ、本年10月より8%から10%に引き上げられる消費税率2%分のみ利用料に転嫁し、8%分については現行どおり、指定管理料として指定管理者に支払うものです。

質疑では「利用料が引き上げられることで使用を躊躇する市民が出てくるのではないか」「そもそも消費税が上がることで自体に反対である」などの反対意見が出されたものの、「本市で一律に負担をするよりも、消費税の意図する受益者負担となることはやむを得ない」などの意見が出され、結局、賛成多数で可決しました。

共同利用施設協塚会館の
今後について

現在休館している共同利用施設「協塚会館」を待機児童解消保育ルームとして運用するための整備工事費用が補正予算として提案されました。

これは本市における保育ニーズの高さを調査し、その結果から1歳児・2歳児をメインターゲットとした受け入れ体制を既存の施設で整えるものです。

付託された厚生委員会では、工期や事業者の見込み、今後の本市の待機児童の見込みなどの質疑が交わされ「児童が安心して遊べる環境に工夫を」「工事については安全と周辺住民への配慮を」などの要望を加えて、結局、全会一致で可決となりました。



議員の発言について

ことしの夏の地域の祭りや、三宅正起議員の氏名が記載された提灯が掲げられていたことが公職選挙法の「公職の候補者等の寄附の禁止」に抵触するおそれがあると指摘されました。そのほかにも同議員は、自身のSNSで、休業中の五月山体育館プールの再開予定日を事前発表するなど、不確定な情報を発信するといった軽率な行動があったことから市議会としては、本人の本会議場での謝罪の申し入れを許可するに至りました。

おはようございます。無所属の会議員団の三宅正起でございます。夏祭りの献灯・奉納等につきまして、この本会議の冒頭の貴重な時間をいただき、また、このような厳粛な壇上からの発言の機会を与えていただき、池田市議会正副議長を初め、市議会議員の皆様、また市、理事者の皆様にまことに感謝いたします。私は去る7月21日、畑天満宮夏祭り行事において、提灯の献灯を行いました。20年前に畑に住み、議員になる前から毎年、天満宮の境内地の整備、祭りの協賛として、参加して参りました。提灯の奉納に関して法規制にかか

るというご指摘をいただき、改めて事の重大さに気づき、驚いた次第で、今日に至りました。また、数々の諸先輩、同僚議員からのご指導、アドバイスを頂き、改善に至らなかったことに対して深く反省をし、心からお詫びをいたします。今後は池田市議会の品格を汚すことがないように十分に気をつけ議会活動に取り組む所存でございます。皆様方に多大なご迷惑をおかけしたことに対して深くお詫び申し上げます。

令和元年9月4日

意見書

9月定例会においては、次の意見書を採択し、関係機関に送付しました。

○プラスチックごみの規制強化で排出削減に取り組むことを求める意見書



「議場コンサート」を開催します

日時＝12月24日（火）15時ごろ

場所＝市役所 議場

演奏＝秦野小学校 金管クラブ

どなたでも傍聴席（定員96名）にて、ご鑑賞いただくことができますので、ぜひともご来場ください。

なお、詳細については、決まり次第、市広報やホームページにてお知らせします。

お問い合わせは議会事務局（電話 754・6170）



昨年度の様子

請願

9月定例会に市民から提出のあった請願の審査結果は、次のとおりです。

○池田市の「ふるさと納税の返礼品」であったチキンラーメンセツトの復活を求める請願

採択

○高すぎる国民健康保険料の引き下げと抜本的改革を求める請願

不採択





一般質問は、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただすもので、定例会に限って行います。

今議会は14人の議員が市政全般について、市長及び関係部署の考えをたしました。

主な内容は次のとおりです。

(一般質問の内容については、質問議員各自の原稿によって編集しています。)

防災用の備蓄品に 乳児用液体ミルクを

(公明党)

液体ミルクは、乳児に必要な栄養分を加え加熱殺菌しているの
で、常温で最長1年間保存が可能。
清潔な水の入手や湯沸かしが難し
い災害時の備蓄品に。

乳児用液体ミルクの備蓄を 前向きに検討

今年7月に、池田市赤十字奉仕
団から、乳児用液体ミルクの寄贈
を受け、備蓄中。有益性を検証し、
前向きに検討する。

災害時の備蓄品について (大阪維新の会池田)

災害時は液体ミルクの活用が有
効では。

液体ミルクの導入を 前向きに検討

重要物資を中心に防災倉庫等に
備蓄。現在、寄贈を受けた液体ミ
ルクを備蓄。今後は有益性を検証
しながら前向きに検討する。

神田小学校区における 洪水時の避難場所は

(無所属の会)

ハザードマップに猪名川決壊時
は、浸水3〜5m未満を想定して
いるが、避難所は確保できるのか。

避難場所の浸水も認識 自主防災組織と連携

特に神田地域の共同利用施設に
は、上階への避難が不可能な会館
もあると認識している。早目の避
難行動を呼びかける。

防災スピーカー訓練の 結果と影響は

(無所属の会)

去る6月2日、市内7カ所から
モーターサイレンを鳴動する訓練
を行ったが、その結果と影響は。

呉服小学校のみ不具合で 全く鳴らず

呉服小学校のみの不具合で、改
修ポイントを発見できた。今後は
最低年1回の訓練実施を予定する。

防災拠点としての 避難施設の設置について

(青風会)

大規模災害時の防災拠点として
の防災避難施設の設置について、
大阪国際空港周辺都市対策協議会
から、国に要望できないか問う。

池田市地域防災計画の 動向を注視し国に要望

大阪国際空港は、「池田市地域
防災計画」上、大規模災害時の防
災拠点として防災避難施設には、
位置づけされていない。大阪国際
空港周辺都市対策協議会として毎
年実施している要望の中で、防災
避難施設の設置に関する直接的な
文言はないが、大規模災害時に緊
急輸送の拠点となる空港としての

防災機能強化については、要望内
容に盛り込んでいる。今後、空港
周辺住民の声や「池田市地域防災
計画」の動向を注視しながら、国
などに要望していく。

体育館にエアコン設置 支援学級の課題対策を

(日本共産党)

あと1年しか活用できない緊急
防災・減災事業債等を使い災害時
の避難場所でもある学校体育館に
エアコンの設置を急ぐべきである。
また、ふえ続ける本市支援学級の
現状は全国平均よりはるかに高い。
課題解決を図るとともに、バリア
フリーの整った旧池田北高校を支
援学校にと大阪府に求められたい。

空調は優先順位を考慮 介助員不足の支援学級

支援学級は5年間で23学級ふえ、
95学級589人となっている。支
援学級担当教員は各教室に1名配
置しているが、介助員のなり手が
なく毎年不足のままスタートして
いる現状。池田北高校跡地活用は、
どのような方法があるのか検討中
だが、支援学校設置に資するかと
うか一度検討してみたい。

一般質問議員

一般質問を行った議員は、次のとおりです。

- 1 藤 本 昌 宏 (公 明 党)
- 2 瀧 澤 智 子 (大阪維新の会池田)
- 3 下 窄 明 (新 生 ク ラ ブ)
- 4 守 屋 大 道 (青 風 会)
- 5 西 垣 智 (自 民 同 友 会)
- 6 坂 上 昭 栄 (新 生 ク ラ ブ)
- 7 安 黒 善 雄 (無 所 属 の 会)
- 8 三 宅 正 起 (無 所 属 の 会)
- 9 浜 地 慎一郎 (自 民 同 友 会)
- 10 小 林 吉 三 (日 本 共 産 党)
- 11 山 元 建 (日 本 共 産 党)
- 12 藤 原 美知子 (日 本 共 産 党)
- 13 川 西 二 郎 (青 風 会)
- 14 山 田 正 司 (青 風 会)

(※質問順)

問 市長のタウンミーティングを終えて①

(自民同友会)

タウンミーティングの内容を今後、どのように反映させるのか。

答 特定の団体や個別の要望を受ける事ではない

今回のタウンミーティングは、特定の団体や個別の要望を受けるものではない。市政運営に生かすために市民の意見を広く聞くことを目的としたもの。今後、意見を集約した上で、対応を検討していく。個別に対応が必要な要望や相談は、随時対応を進めていく。

問 市長のタウンミーティングを終えて②

(自民同友会)

タウンミーティングでの要望の実現性は。

答 優先順位をつける対応していく

タウンミーティングで上がった意見は、公平公正を原則として、その重要性や費用対効果等を勘案し、優先順位をつけ対応していく。

問 地域分権制度の予算提案権費用対効果は

(青風会)

平成19年から始まったこの制度は13年間で総額11億円の支出となっているが、制度への見解、見直しについて。

答 地域の課題やニーズに主体性を発揮し対応

効果は、地域の課題やニーズに地域が主体性を発揮し対応されたこと。予算提案権の2、3年後の廃止も踏まえた制度の見直しについて、地域と丁寧協議していく。

問 石橋に休日でも住民票がとれる窓口復活を

(日本共産党)

マイナンバー制度は個人情報流出など不安が多くマイナンバーカードの取得は市民の7人に1人にとどまり広がっていない。同カードなしで休日でも住民票がとれた石橋の市民窓口を復活せよ。

答 復活は考えていない

より利便性の高いコンビニ交付を推進するために、マイナンバーカードの普及に努める。

問 本庁玄関の傘立て使用不可が多いのだが

(無所属の会)

鍵がない傘立てが多いのだが。

答 傘立ての最適な運用方法を今後検討する

緊急時に、忘れ物の傘活用も含めて、最適な運用を検討する。

問 働き方改革について

(自民同友会)

庁内の働き方改革を進めていく上で、市長として何が重要か。

答 仕事の質の維持・向上につながる事が重要

働き方改革を進めていく上では、仕事の質の維持・向上につながる事が重要になる。長時間労働の是正、休暇等の取得の促進や個々の職員の実情に応じた多様な働き方を推進するための環境整備、業務改善のための技術の導入及び業務プロセスの見直しを通じて、仕事の質の維持・向上を図る。



問 人口減少で職員数も減
対応策について
(青風会)

高齢人口がピークを迎える40年には職員も不足し、行政サービスを維持することは難しくなる。将来を見据えた行政の課題・対策は。

答 市民の高齢化率も36%
職員の質向上を重要視

今年度中に次期総合戦略を策定。AIなど革新的技術導入による業務の効率化・生産性の向上を図り良質な行政サービスの水準を維持できるよう努める。

問 池田の伝統の祭り
がながら火の将来は
(新生クラブ)

ここ数年の祭りを主催する保存会の取り組みが、より地域性を強くし、関係するものだけの神事としての位置づけが強まっている。保存会独自の内容になっているように感じているが見解を問う。

答 補助金の交付については
検討せざるを得ない

補助金を交付しているが、保存会とがながら火祭りを支えることができる団体・個人等がうまく連携していただき、伝統のがながら

火を守っていただくこと、活性化に期待する。今後は、がながら火祭りが「まちのにぎわい創出」よりも神事としての位置づけが強まってきていると判断すれば、補助金の交付のあり方について検討せざるを得ない。

問 大阪空港への国際線等の
就航要望の現状は
(青風会)

大阪空港の国際線復航とチャーター便の就航要望に対する現状は。

答 関西3空港懇談会で
将来は就航の可能性を示す

大阪国際空港周辺都市対策協議会を通じ、安全・環境問題解決を優先した中で、国際チャーター便の就航について、国等に要望活動をしている。

また、関西3空港懇談会で大阪空港の将来的な国際便就航可能性が示され、スポーツイベントや2025年の関西万博などで、インバウンドの増加が見込まれる中、航空機騒音値の軽減等の課題解決を図り、便の就航を要望していく。



問 学校給食の
アレルギー対応について
(自民同友会)

学校給食は子どもたちの成長に欠かせない適切な栄養の摂取、健康の保持増進を図り、社交性や協調性を育む機会にも寄与し、全ての子どもに平等の権利のもと提供されなければならない。しかしながらアレルギーを持つ子どもたちは食材の混同や誤食を防ぐため友達と離れて食事を行い孤立している。全ての子どもたちが「給食は楽しい時間」と考えるためにも今後のアレルギー除去食に対する取り組み、方向性について問う。

答 将来的に不使用にできる
食品についても検討

現在、本市の給食センターにおいては卵除去、並びに、そば・落花生の不使用にて給食の提供を行っている。現在府内小中学校においてセンター方式でアレルギーの品目を使用しない除去食対応の給食を提供しているところはないが、検討を進めている。



問 学校教育下及び登下校
の安全体制について
(青風会)

登下校中の安全確保や通学路の危険箇所把握について問う。

答 実態把握に努め
関係機関と連携し安全確保

学校とPTAが協働して市教委に提出する安全要望は、緊急性のあるものから順次実施し、その結果を伝え返すことに努める。

問 熱中症予防
学校園の暑さ指数について
(無所属の会)

学校園では暑さ指数(WGBT)を用いて活動の判断をしていると聞くが、どのような指標なのか。また、箕面市と池田市では、暑さ指数での判断基準が違っていると聞くがどう違うのか。

答 暑さ指数とは
温度、気温、日差しの3要素

箕面市が示す暑さ指数28度は運動に関する指標の厳重注意。池田市の示す31度は、原則運動中止。

問 教育効果抜群の
35人学級を全学年に
(日本共産党)

秋田県を学力底辺県から全国トップに押し上げた少人数学級。大阪でもいじめ解消など効果は実証済み。市長も市議時代に要望しており財源もある。どの子にも学力を保証してこそ教育日本一と言える。あとは市の決断を待つだけ。

答 検討する

財政状況を見ながら検討する。

問 子育てイメージを持つための
施策について
(新生クラブ)

価値観が多様化する現在、学校など公教育の中で赤ちゃんや幼児と触れ合う機会を設けることが将来子どもを育てるイメージをつくり、少子化に歯止めをかけるとともに子どもの情操教育にも有益と考えるが見解を問う。

答 拡充に向け来年度の
予算化を検討する

次代の親となる生徒に、これまでも赤ちゃん先生などの取り組みを実施してきたところである。さらに多くの生徒に体験してもらう

べく予算化して進められるよう検討していく。

問 学校のいじめ問題
科学的な取り組みを
(公明党)

未来の宝である子どもたちのため、科学的分析を活用した先駆的ないじめ対策が必要では。

答 科学的な実証調査を展開
早期発見、早期対応

いじめの実態や学校風土を数値化する調査を実施中。その指標をもとに問題行動の解決に取り組む。

問 スクールカウンセラーの
配置について
(無所属の会)

中学校では週1回、小学校では隔週1回の配置。児童や保護者への継続的な支援には隔週では時間の制約があると思うが、今後の配置予定を含めた見解は。

答 スクールカウンセラーの
配置時間数増を検討

相談業務や児童観察、教職員との情報共有及び助言を限られた時間の中で行っている。子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう配置時間数の増加を検討。

問 ICTを活用した教育
について
(無所属の会)

タブレット型PCの導入が進んでいるが、その整備状況と教育的効果について問う。

答 電子黒板と連携活用
授業改善効果発揮

情報活用能力の育成に向け、タブレット型PCを用いた授業づくり研修会をより充実させていく。

問 病院経営の改善と
小児救急診療の充実を
(新生クラブ)

管理者に就任され、具体的な計画や問題点をどのように経営に反映されるのか。また、小児救急の診療機能拡充等の考えは。

答 具体的な計画・立案実践
体制の周知に努める

市立池田病院の現状を把握した上で今後の具体的な計画を立案、実践していく。これまでの経験を生かし財政状況の改善が重要と認識しており、積極的な提案を行っていききたい。小児科については、土日を含め、こども急病センターや開業医との連携強化によって24時間の医療体制を充実させ、その

周知に努める。

問 コミュニティナース
導入について
(大阪維新の会池田)

看護師としての知識と技術を生かし、地域で健康寿命の延伸や予防医療の貢献が期待できるのでは。

答 健康教育事業を
実施している

待遇面などが課題。壮中年期を対象に生活習慣病予防や健康づくりへの取り組みを促進する。



問 高齢者等の身元保証サービス
安心対策を

(公明党)

この制度は、運営や契約の方法は事業者任せで、指導・監督する行政機関が明確でない。高齢者とのトラブルが多いと聞くが、安心して活用できるよう対策を。

答 被害防止に向けて
連携機関と対応する

高齢者福祉及び消費者行政の関係部局が密に情報共有し、市民への周知を図る。個別相談に対しては地域包括支援センターや消費生活センターにおいて適切に対応。

また、社会福祉協議会では、金銭管理サービスなども行っている。



問 市役所前の施設循環福祉バスの
ベンチ設置は

(無所属の会)

高齢者のために、優しい視点でベンチを市役所前につくれないのか。

答 歩行者通行の観点から
設置を見合わせている

歩行者の通行の妨げとなり、安全性に問題あり。庁舎内の待合ソファを活用してもらい、そこに時刻表を設置している。

問 敬老の里プロジェクトは
市民の声を生かして

(日本共産党)

プロジェクトの今後の進め方について、もっと市民に知らせ声を聞いて進めるべき。花園会館は現在の施設を生かすべきではないか。

答 敬老の里は再考した

前橋工科大学堤准教授の提案に戻し進める。多世代交流、健康増進、福祉環境の提供を構築する。民間活力の導入や施設の集約による余剰土地の活用を検討。花園会館含む共同利用施設は老朽化しており、共助や防災等の観点で借上げも含め目的に資する施策を行う。市有地の売却は批判がある反面、

理解もある。市民により丁寧な説明をし、多くの声を取り入れる。

問 地域包括ケアシステムの
人材確保について

(青風会)

福祉・医療分野は慢性的な人材不足。その対策や自分らしい暮らしを最期まで続けられるための啓発活動の方法を問う。

答 人材養成費用を助成
システム構築に努める

介護職員初任者研修の受講費用を一部助成し、介護人材の裾野の拡大に努めている。地域包括や社協・池田病院などと連携し、システム構築に向け取り組む。また、家族や関係者らが、人生の最終段階で話し合いつきかけとなる事前指示書やガイドブックを作成。

問 障がい者支援である
通学支援制度について

(新生クラブ)

多くの人が社会参画されることが求められる現在、障がいを持つ方へ合理的配慮を進めていくことが必要である。本市では先進的な取り組みである通学支援制度が設けられているが、その利用対象者数と今後の制度の拡充について問う。

答 府が検討している独自支援に
歩調を合わせる

現在の支給決定者数は限定的であるものの、大阪府が重度障がい者の就労中や通勤・通学時介助費用の独自支援の意向を表明している。本市も大阪府の動向を注視し、必要に応じて検討していく。

問 地域公共交通のあり方と
今後について

(大阪維新の会池田)

今後の地域公共交通の展望は。

答 地域公共交通会議で検討

様々な他市の事例や次世代交通も視野に入れ、方針の策定に向けて協議を進める。





問 地域公共交通
今後の具体的対策は

(日本共産党)

高齢化が進む中、7月以降阪急バスのさらなる減便により、買物にも病院に通つにも支障が出ている。いよいよ公共交通のあり方が問われている。福祉バスの改善、コミュニティバス、デマンドタクシー、交通費助成度の活用など、急ぎ具体的対応を進めるよう求める。

答 来年度に地域の特性を生かした方針策定予定

バス減便を受け公共交通が重要な位置にあることは認識している。交通費補助制度も含めてサービスや費用対効果を勘案し、来年度に方針を策定したい。福祉バスの不具合は現場で確認し手直ししたい。

問 バリアフリー法改正
池田駅構内の車椅子は

(青風会)

階段など二つの障がいがあり、展示場「ベガ」へは車椅子では行けない。南ビルにも直接行けないが対策を講じてもらえるのか。

答 移動の円滑化のため
マスタープランを策定

池田市バリアフリー推進協議会で、旅客施設と生活関連施設の間を結ぶ、道路広場との移動円滑化のため協議会に参画している事業者と方策を検討する。

問 高齢化と格差と貧困に見合う
市営住宅増設を

(日本共産党)

市営住宅の応募倍率及び市営住宅長寿化計画(案)での市営住宅削減の根拠について問う。

廃止計画の団地では、高齢化により移転が困難な入居者が多く、配慮が必要ではないか。UR住宅には空き家が多く、1棟借りだけではなく、今後の需要に備え1戸借りなど弾力運用を検討すべき。

答 公営住宅の果たす役割
供給を心がける

市営住宅の応募倍率は昨年9・3倍、今年14・7倍。低廉な家賃を含んだ供給は、将来的には十分である見込み。URとの契約満了までに、部分借上げも視野に柔軟な対応を検討。生活困窮者のサポートが損なわれないよう対応する。

問 コミ袋広告事業について
(大阪維新の会池田)

地域経済の活性化と自主財源確保につながるのでは。

答 持続可能性など検討

包装部分への掲載は難しいが、ゴミ袋への掲載については、実施・持続の可能性について検討する。

問 市内の緑拡大へ
空港地域に公園を

(日本共産党)

生産緑地法改正をてこに市民農園や空き家対策を進めよ。空港地域には公園がなく緑地はほぼ皆無。旧空港官舎(空港2丁目)周辺に誰もが利用できる緑地公園を。

答 実現へ努力する

生産緑地法の規制緩和を積極的にPRしていく。空港の公園については敷地の20%に緑地を設ける市条例に則って土地所有者と交渉する。

問 救急車の出場件数及び
消防力体制を問う

(青風会)

人口減少社会・超高齢社会に向け、現在の消防職員体制で増加が見込まれる出場要請に対応できるのか問う。

答 昨年は過去最多の60300件
救急体制を充実

高齢者の搬送率が62・4%を占めており、高齢化に伴い高齢者の救急搬送の増加も予測される。救急車を1台購入し、常時4隊運用できるよう計画的に人員配置。





9月定例会では、13件の議案及び請願2件を、市議会に設置している常任委員会に審査付託し、細部にわたり慎重に審査しました。

9月25日の本会議では、各委員長が審査の結果報告を行い、市長から提出された13件の議案のうち、1件は修正可決し、残り12件はいずれも可決しました。

また、請願2件のうち1件を採択し、ほか1件を不採択と決しました。

各委員会での審査の主な内容は、次のとおりです。

総務委員会

葬祭場利用料金における消費税の取り扱い

《葬祭条例の一部改正》

問 本条例の一部改正は10月からの消費税増税に伴い、葬祭場における利用料金の額に2%分を転嫁するものであるが、現行の8%分についてはどのような取り扱いになっているのか。

現行は利用者負担なし 増税分2%は利用者負担

答 消費税8%分については現行の利用料には転嫁しておらず、市が指定管理料に消費税を上乗せして支出しており、その中から指定管理者が国に納入している。

したがって、消費税率が10%になっても、利用料への転嫁は2%分のみとし、残りの8%分については、引き続き指定管理料の中で対応したいと考えている。

電子錠システム導入に係る費用が高額では

《一般会計補正予算》

問 北豊島分団詰所の防災研修室に電子錠システムを導入し、実証実験を行う予算として、700万

円計上している。

既存の当該システムの本市仕様への改修費用が一定必要であるとはいえず、ICカードが急速な進化を遂げている中、700万円もの多額の費用をかけて実証実験を行うことは納得しがたい。

今回の実証実験で使用する電子錠には、安価な民生品でも十分検証することは可能であると考ええるが、見解を問う。

高額かもしれないが 将来に向けた投資である

答 これまでも制度改正に伴う電算システムの改修に1千万円を超える費用を支出する場合も少なくなく、今回の提案が一概に高額なものではないと考えている。

しかし、指摘のとおり、今回の実証実験に係る費用だけを見れば、高額であると思われるかもしれないが、今後、実証実験の結果を受けて新たに構築する電子錠システムを本市の公共施設に導入していけば、電子錠の単価は、民生品と同水準になるとともに、施設の維持に係る人件費や管理運営費の削減にもつながるなど、将来に向けた投資だと考えている。

文教病院委員会

図書館関連費用について 教育委員会の見解は

《一般会計補正予算》

問 今年度の図書館管理事業費に係る当初予算については、図書館の移転に伴って昨年度よりも増加するが、増加額は1500万円以内に抑えられると認識していた。

しかし、当初予算の段階で、すでにこの見込みを超えており、さらに今回、下半期分の新図書館の空調費用の追加補正を提案している。

予算編成に当たって、教育委員会の見込みが甘かったのではないかと考えるが、見解を問う。

人件費の抑制により図書館関連 費用全体では削減されている

答 指摘のとおり、図書館の管理費単体では増額となっているが、管理費のほか、運営費と人件費を合わせた平成30年度の決算額と本年度の当初予算に本補正予算を加えた額を比較しても大きな開きはないものと思われる。

これは、中央公民館にあった図書コーナーを新図書館に集約するとともに新図書館をワンフロア化

厚生委員会

したことによる人件費抑制の効果があつたためである。

保育ルームの利用対象を

1歳児・2歳児とした理由は

〈一般会計補正予算〉

問 10月から実施される幼児教育・保育の無償化の対象は主に3歳児から5歳児であるにもかかわらず、今回整備する待機児童解消保育ルームの利用対象が主に1歳児・2歳児となっている理由について問う。

また、なぜ協塚会館を整備場所として選んだのか。

保育入所申し込みは 1歳児・2歳児に集中

答 保育所等の入所申し込みについては1歳児・2歳児に集中しており、重点的に保育の受け皿を確保する必要があるため、利用対象を主に1歳児・2歳児としたところである。

しかし、それ以外の年齢の児童についても受け入れは可能であるため、保育ニーズや施設の運営状況を踏まえて対応していきたいと考えている。

また、協塚会館を選定した理由としては、神田地域や北豊島地域

における保育ニーズの高まりに加えて、既存施設を活用することで、工期の短縮による早期開設や経費の削減ができるかと判断したためである。

土木消防委員会

空き家等の倒壊を事前に回避する 緊急安全措置に係る条例の制定は

〈一般会計補正予算〉

問 今回、予算計上している略式代執行費等返還金及び国庫支出金返還金は、本市が平成29年度に行つた空き家に対する略式代執行に係るものである。

近年、全国で倒壊する恐れのある空き家等の増加に伴い、管理不全の空き家等の危険状態を回避するため、所有者の同意を得なくても必要最低限の措置を講ずることができる緊急安全措置を条例で定めている自治体があると聞き及んでいる。

本市においても同様の条例を制定してはどうかと考えるが見解を問う。

条例制定に向け 前向きに検討中

答 昨年、本市において、傾いたブロック塀の空き家所有者に対し、指導を行つていたところ、そのブ

ロック塀が倒壊した事案が発生した。それを受けて、現在、空き家対策協議会において、所有者の同意を得なくても市が一定の緊急安全措置が講じられるように条例制定に向けた協議を行っており、議会への上程を検討している。



議会の予定

12月定例会は、次の日程で開催する予定です。本会議・委員会はいつでも傍聴できます。開会はいずれも午前10時からの予定です。(定員あり)

12月12日	3日(火)	本	会	議
12月9日	9日(月)	委	員	員
12月10日	10日(火)	委	員	員
12月11日	11日(水)	委	員	員
12月12日	12日(木)	本	会	議
12月23日	23日(月)	本	会	議
12月24日	24日(火)	本	会	議

議 会 日 誌

9月

9月2日 各派代表者会議
議会運営委員会

9月4日 市議会定例会

市議会だより編集
特別委員会

9月6日 土木消防委員会
議会運営委員会

9月9日 厚生委員会

9月10日 文教病院委員会
各派代表者会議

9月13日 総務委員会

9月18日 各派代表者会議

9月25日 各派代表者会議
議会運営委員会

市議会定例会

9月26日 市議会定例会
議会運営委員会

10月

10月1日 決算説明会

議会運営委員会

10月10日 市議会だより編集
特別委員会

10月16日 市議会だより編集
特別委員会

○市長提出議案及び議決の結果

議 案 名	議決の結果
平成30年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率について	報 告
池田市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	原案可決（全員異議なし）
地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行等に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決（全員異議なし）
成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決（全員異議なし）
池田市印鑑条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
池田市市税条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
池田市葬祭条例の一部改正について	原案可決（賛 成 多 数）
池田市水道事業給水条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
池田市民文化会館条例の一部改正について	原案可決（賛 成 多 数）
池田市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
池田市名誉市民賞表彰について	原案可決（全員異議なし）
池田市有功賞表彰について	原案可決（全員異議なし）
池田市教育委員会委員の任命について	同 意（全員異議なし）
令和元年度池田市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決（全員異議なし）
令和元年度池田市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決（全員異議なし）
令和元年度池田市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決（全員異議なし）
令和元年度池田市一般会計補正予算（第7号）	修正可決（賛 成 多 数）
平成30年度池田市病院事業会計決算の認定について	継 続 審 査
平成30年度池田市水道事業会計決算の認定について	継 続 審 査
平成30年度池田市公共下水道事業会計決算の認定について	継 続 審 査
平成30年度池田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	継 続 審 査
平成30年度池田市財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	継 続 審 査
平成30年度池田市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	継 続 審 査
平成30年度池田市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	継 続 審 査
平成30年度池田市一般会計歳入歳出決算の認定について	継 続 審 査
幼児教育・保育の無償化の実施に伴う関係条例の整備に関する条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）

※継続審査とは、会議で議決した案件について、審査付託を受けた委員会が引き続き議会閉会中に審査を行うことをいいます。

市議会だより編集特別委員会

委員長	山 元 建
副委員長	守 屋 大 道
委員	下 窄 明
委員	藤 本 昌 宏
委員	西 垣 智 子
委員	瀧 澤 正 起
委員	三 宅 正 起

やまばと

秋色いよいよ深まり、夜長のころとなりました。

市民の皆様には、日ごろから池田市議会の活動に対し、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

本紙では、9月議会での14名の議員からの一般質問をはじめ、各常任委員会での審査の主な内容などを掲載させていただきました。

さて、本市においても、人口減少や少子高齢化による影響など厳しい課題は多くありますが、市民の皆様が安心して暮らしている市政の展開を目指して、各種審議に取り組んでいるところです。

お一人でも多くの市民の皆様にご愛読いただけますよう、今後もわかりやすい紙面づくりに努めてまいりますので、どうかよろしく願います。